



2020年1月10日

第1回野口幽香賞の受賞者について

当法人の120周年を記念して創設した野口幽香賞の第1回の受賞者が、厳選なる選考の結果、以下の通り決定いたしましたので、ご報告いたします。

社会福祉法人二葉保育園
理事長 井上従子

□受賞者

かたのきよみ
片野清美氏（エイビイシイ保育園施設長）

□選考理由

社会福祉法人杉の子会 エイビイシイ保育園は、1983年に無認可保育施設として東京・新宿の繁華街として有名な歌舞伎町に程近い大久保のビルの一室で始まりました。この地域ですので、預ける親のニーズに合わせてと保育時間は24時間とせざるを得ませんでした。夜間保育への偏見や非難と闘いながら、困っている人を助けたいとの思いで産休明け保育、夜間・深夜保育、休日保育、夜間学童保育、ショートステイ等を実施してきました。2001年4月には東京都ではじめての24時間開所の認可保育所となりました。

片野清美氏は、これらの事業のリーダーとして強い使命感と熱意をもって歩んでこられました。24時間眠ることのない現代社会を象徴するかに思える都心のこの地域にあっても、安心して子育てをしてほしいとの思いから、親と子の生活に向き合い、子育てを支え、心身共に健康な乳幼児の成長を目指しての実践を積み重ねてこられました。

120年前に野口幽香は貧しく、放置されていた子どもたちを見過ごすことができず、この子どもたちを若芽の二葉から、愛と慈しみをもって、たくましい木々になるように育ていきたいとの強い決意で、貧民のための二葉幼稚園を開設しました。片野清美氏とその働きを支えている方々の活動は、この野口幽香の精神に通じるものがあります。